

検査結果の見方

| | 検査項目 | 基準値 | 説明 |
|------|------------------|--------------------------------|---|
| 脂質 | 総コレステロール (T-CHO) | 140~219 mg/dL | 血液中に含まれる脂肪分です。これが高い状態で放置しておくと、脂肪分がだんだん血管壁に付着して動脈硬化の原因になり、やがては心臓病や脳卒中を起こすことになりかねないものです。中性脂肪は食後上昇することが多いので、きちんと空腹時に再検査しましょう。高ければ、食事療法、運動療法をまずしてこの値をフォローすることが大切です。 |
| | 中性脂肪(TG) | 50~149 mg/dL | |
| | HDLコレステロール | M: 40~90mg/dL F: 40~95mg/dL | |
| 蛋白 | 総蛋白(TP) | 6.7~8.3 g/dL | 栄養障害、悪性腫瘍、腎炎、むくみなどで低値を示します。 |
| | A/G 比 | 1.30~2.00 | A(アルブミン)とG(グロブリン)の比です。ネフローゼ症候群、肝硬変などの時に値が低くなります。 |
| | 分画での A/G 比 EP | 1.5~2.5 | |
| 肝機能等 | GOT (AST) | 9~35 IU/L | 肝機能はこれらの検査項目の組み合わせで判定します。 |
| | GPT (ALT) | 5~33 IU/L | 肝細胞の障害で高くなります。 |
| | γ -GTP | M: 50IU/L 以下 F: 30IU/L 以下 | 主としてアルコール過飲のための肝障害の程度を示します。 |
| | ALP | 100~340 IU/L | 肝・胆道系疾患以外に骨疾患などでも高値となります。 |
| | LDH | 119~229 | 高値は、肝臓、心臓、血液などの内臓障害の可能 |

| | | | |
|-------------|-------------------|--|--|
| | | IU/L | 性を示唆するものです。 |
| | 総ビリルビン (T-BiL) | 0.2~1.2 mg/dL | 各種肝・胆道疾患の診断、経過観察、予後判定 や黄疸の鑑別に用いられています。 |
| 膵 | アミラーゼ (AMY) | 50~160 IU/L | 唾液腺でも多く産生されますが、主として膵疾患 の診断に重要です。 膵炎、膵肝内圧上昇及び唾液腺疾患などが起こ ると高値となります。 |
| 心 | CPK | M: 57~ 197IU/L F: 32~ 180IU/L | 骨格筋、心筋を中心に存在する酵素で、細胞の 損傷によって血液中に遊出します。 急性心筋梗塞などで高値となります。 |
| 腎 機 能 | 尿素窒素(BUN) | 6.0~22.0 mg/dL | 腎臓は血液の中の老廃物、つまり不要になったも のを尿として体外に排出するという大切な役目を しています。 その腎臓の機能が悪くなると、この値が高くなりま す。 |
| | クレアチニン (Cre) | M: 0.5~ 1.2mg/dL F: 0.4~ 1.0mg/dL | |
| 電 解 質 | ナトリウム(Na) | 136~148 mEq/L | 体液の量や浸透圧の維持機構ならびに酸塩基平 衡調節系の病態を把握します。 |
| | クロール(Cl) | 96~108 mEq/L | |
| | カリウム(K) | 3.5~5.0 mEq/L | |
| | カルシウム(Ca) | 8.6~10.8 mg/dL | 骨の成分となっているものですが、この値が異常 なときはカルシウム調節機構に何らかの異常が 示唆されていますので詳しい検査が必要です。 |
| 痛 風 | 尿酸(UA) | 7.0 以下 mg/dL | 体内の新陳代謝の結果その老廃物として作られ たものです。 肉類や糖分、アルコールの摂りすぎ、激しい運動 を続けたときなど尿酸が多くなります。これがうま く尿に流れず関節にたまり痛む病気が痛風です。 |
| 糖 | 血糖 | 70~109 | 糖尿病の有無をみます。この値が高い場合は、糖 |

| | | | |
|---------------|--------------|--|---|
| 尿病 | | mg/dL | 尿病かどうかを調べるために詳しく検査(糖負荷試験)する必要があります。 |
| | HbA1c (HGSP) | 4.6~6.2% | 赤血球の中のヘモグロビンに糖が結合したもので、1~2ヶ月前の血糖値を反映し、これが高いと持続的に血糖値が高いことを示しています。 |
| 貧血 | 赤血球 (RBC) | M: 430~570 10 ⁴ /μl F: 370~480 10 ⁴ /μl | 貧血の状態を調べます。 基準値より低値の場合貧血といえます。 一番多いのは鉄欠乏性の貧血ですが、中年以降の女性では子宮筋腫に原因することもあります。また癌など悪性疾患に原因することもあるので詳しく調べることが必要です。 |
| | ヘモグロビン (Hb) | M: 14.0~17.0g/dL F: 11.0~15.0g/dL | |
| | ヘマトクリット (Ht) | M: 42.0~54.0% F: 36.0~46.0% | |
| 血小板 (PLT) | | 15.0~35.0 10 ⁴ /μl | 傷害された血管壁の止血血栓を形成することを主な働きをしています。 |
| 白血球数 (WBC) | | 40~80 10 ² /μl | 炎症性の病気や過度のストレスなどで増加します。減少があるときはその原因疾患の追求と対策が必要です。 |
| リウマチ因子 (RF) | | 0.0~15.0 IU/mL | 慢性関節リウマチの診断基準の項目に入れています。以外にも、膠原病、感染症、肝疾患でも高値となる率が高いです。 |
| HBs抗原 (Hb-Ag) | | (-) | B型肝炎ウイルスの有無を調べます。 |
| HCV抗体 | | (-)0.9以下 | C型肝炎ウイルスの有無を調べます。 |